

### ■ノルウェー：世界初の浸透膜発電の実証プラントが運転開始

ノルウェーの国営電力会社であるスタットクラフトは 2009 年 11 月 24 日、世界で初めてとなる浸透膜発電の実証プラントの運転を開始したと発表した。このプラントは、ノルウェー南東部のオスロ・フィヨルドに面した塩素工場跡地に建設された。プラントの発電出力は数百 W であるが、同社は、今後段階的に出力を引き上げ、2015 年までには最初の商業用プラント（出力 2 万 5,000kW）の建設を予定している。浸透膜発電は、海水と淡水の浸透圧の違いを利用して電力を発生させるため、淡水が海に注ぎ込む所であれば、どこでも発電可能である。太陽光発電や風力発電と異なり、気象条件に左右されず、発電能力が安定していることに加え、騒音や汚染廃棄物を一切出さないといったメリットもある。